

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							3.5
Q1 室内環境			0.40		-			3.2	
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00			3.0	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50				
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50				
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20				
1.3 吸音		-	-	-	-				
2 温熱環境		2.6	0.35	2.7	1.00			2.6	
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.3	0.50				
1 室温	日本住宅性能表示「断熱等性能等級4」相当	3.0	0.63	3.0	0.63				
2 外皮性能		3.0	0.38	4.0	0.38				
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30				
3 光・視環境		3.3	0.25	3.1	1.00			3.2	
3.1 昼光利用		4.2	0.30	2.4	0.30				
1 昼光率	共用部分の昼光率2.5%以上。光庭・テラス等による採光を計画。	5.0	0.60	3.0	0.50				
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30				
1 昼光制御	宿泊室には、ブラインド及びバルコニー壁、又は庇を計画。	3.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25				
4 空気質環境		4.4	0.25	4.1	1.00			4.2	
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用。VOCに配慮。	5.0	1.00	5.0	1.00				
4.2 換気		3.5	0.40	2.6	0.38				
1 換気量	30CMH/人を確保する換気量にて設計。	4.0	0.50	4.0	0.33				
2 自然換気性能		-	-	1.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御		-	-	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.4	
1 機能性		4.0	0.40	3.4	1.00			3.7	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.0	0.40				
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画	交流を促す共用部と居住空間。パースによる検証。	5.0	1.00	5.0	0.50				
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	共用WC床・壁面はタイル。水切設置。外壁の撥水塗装。	5.0	0.50	-	-				
2 維持管理機能の確保	掃除用具庫を計画。ゴミ集積所には適度な勾配を設ける。	4.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート、壁:ビニルクロス貼り、天井:ビニルクロス貼り、ポ-	4.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用。	4.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.6	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり					4.2	0.50	
1 階高のゆとり	階高3.4m以上。				5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00			
1 空調配管の更新性			3.0	0.20			
2 給排水管の更新性			3.0	0.20			
3 電気配線の更新性			3.0	0.10			
4 通信配線の更新性			3.0	0.10			
5 設備機器の更新性			3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	隣接する既存キャンパスと調和する形態・配置・外装材。		5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	中央広場、緑道、ラニクモンス。光庭。バルコニー前の植栽や壁。		4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	風を導く建物配置。中高木、緑地の確保。		4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能表示「断熱等性能等級4」相当		4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	建築物全体BEI=0.94。		3.6	0.50	-	-	3.6
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制			3.0				
集合住宅の評価			3.5	1.00			
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制	レベル3に加え、一般的な省エネパンフレットの配布も行う予定。		4.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床シートA・B: 共用廊下、倉庫等、打込断熱材: 外壁・柱型		5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上げ材。OAフロア。		5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWP=1の吹付断熱材を使用。		5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	レベル3を満たし、かつ透水性舗装を採用。		4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」の一部を満足、屋外広告物照明を行わない。		4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	